

2021 年度 自己点検・評価報告書

情報公開評価分科会

2022 年 3 月

【点検・評価項目（アセスメント項目）】

教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。

評価の視点（アセスメント指標）

- 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等の公表
- 公表する情報の正確性、信頼性、適切な更新

（1）2021年度の取り組みの点検・評価

<情報公開について>

「学校法人創価大学情報公開規程」を制定し、保有する情報の公開に関し、必要な事項を定めている。情報公開の目的を「本法人の活動に関する社会的説明責任を果たし、公正かつ透明性の高い運営を実現し、教育研究の質の向上に資すること」としている。

本規程第3条第1項では、情報公開内容を、(1)学校法人及び学校の基本情報、(2)財務及び経営に関する情報、(3)教育活動に関する情報、(4)研究活動に関する情報、(5)学生生活・課外活動に関する情報、(6)社会貢献・連携活動に関する情報、(7)進路・進路支援に関する情報、(8)校地・校舎等の施設・設備に関する情報、(9)大学評価に関する情報、(10)コンプライアンスに関する情報、(11)学則・諸規程等に関する情報、と規定している。

<教育研究活動の公表>

■教育情報について

学校教育法施行規則改正に伴う大学の教育関連情報の公開義務化を受け、大学ウェブサイトに「教育情報の公表」に関するページを設けている。「教育研究上の目的と基本組織」、「教職員に関する情報」、「学生に関する情報」、「修学に関する情報」、「教育研究環境（校地、校舎の施設・設備等）」、「学生の修学、海外留学・国際交流、進路選択、心身の健康等に係る支援」、「社会連携・社会貢献」、「大学運営に関わる情報」の見出しのもと、同一ページ内に必要情報を一覧で公開している。情報の正確性及び信頼性を確保するため、学校基本調査および各部署で所有する数値等に基づき、毎年8月頃に情報を更新している。

>教育情報の公表 <https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/public/>

■研究者情報について

教員個人の学術研究情報を中心に公式な情報公開ツールとして運用してきた「創価大学研究者情報データベース」の枠組みを活用して、「教育」「研究」「学内活動」「学外活動」などの情報を公開しており、教員各自が更新できる体制をとっている。また、アクセスの利便性を高めるため、大学ウェブサイトの各教員ページにリンクを設け、研究者情報データベース個人ページに遷移できるよう工夫している。

>研究者情報データベース <https://fpes.soka.ac.jp/>

■オンラインシラバスについて

オンラインシラバスのシステムを通じて、各科目の担当者、授業の概要と方法、受講生の到達目標、授業スケジュール、成績評価方法等の情報を含む全科目のシラバスを公開し、教育活動の透明性を高めている。

る。学修者本位の教育の実現に向け、さらなるシラバスの充実に努めている。

> オンラインシラバス <https://plas.soka.ac.jp/csp/plas/syllabus.csp>

<自己点検・評価結果の公表>

自己点検・評価結果については、全学自己点検・評価委員会及び内部質保証推進委員会（2019年度以降）における精査を経て、「自己点検・評価報告書」にとりまとめ、2004年度から本学ウェブサイトに毎年公表している。また、「自己点検・評価実施体制規程」、「内部質保証推進体制及び手続きに関する規程」についても公開している。情報の正確性及び信頼性を確保するため、自己点検・評価結果については、全学自己点検・評価委員会で取りまとめ、内部質保証推進委員会の最終的な精査を経て公表している。

> 自己点検・評価結果 <https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/ad/>

<財務状況の公表>

大学運営の効率性、透明性を確保し、大学を支えてくださる関係者や社会一般に説明責任を果たすという観点から、各年度の事業計画及び事業報告書を公開している。私立学校法や各種通知等による財政情報の公表の取組みとして、予算・決算に関わる計算書類、事業報告書等についてはホームページにて公表している。また、監査法人及び監事の監査を受けたうえで「監事の監査報告書」を付して公開しており、社会への情報公開における正確性・信頼性を確保している。

> 財務情報 <https://www.soka.ac.jp/about/disclosure/finance/>

<外国語による情報公表>

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」の採択校として、海外からの留学生の受入れ等を推進するため、大学ウェブサイトに英語サイトの充実を図っている。英語のみで学位が取得できるプログラムの紹介ページをはじめ、奨学金や学生寮など学生支援に関するページなど、留学生の意見を聞きながら必要な情報を公開している。英語サイトのほか、中国語サイト、韓国語サイトについても運用している。

情報の更新および発信にあたっては、国際部やグローバル・コアセンター、学部事務室と連携し、正確性・信頼性の確保に努めている。

（2）2022年度以降の方針

<情報公開の適切性の点検・評価と改善・向上の取り組み>

現在の各会議体での点検・評価の体制を継続するとともに、「日本私立大学連盟ガバナンス・コード」や今後の私立学校法関連の改正法案の動向を注視しつつ、学外における公開すべき必要情報を整理および検討し、過不足なくわかりやすい情報公開を通じて社会的信用を高めることに努める。

また、ウェブサイト上でのアクセスの利便性を高めるため、情報公開に関するページのアクセス数や流入経路を分析し、デザインやレイアウトも含めユーザビリティの向上を図る。